

# Forest 通信

H28 11

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

NO.333

巻頭 photo

## 高尾山の生きものたち

### モズ (モズ科)

秋が深まって来ると「キィ キィ キチキチキチ」とモズの高啼きが聞こえてきます。秋の食糧確保の縄張り宣言とか？他の鳥の鳴き真似上手なため漢字では「百舌鳥」と書きます。

体長20cmのモズは、鉄条網や枝先に昆虫やカエル、トカゲなどを刺す「はやにえ」の習性があります。冬に食べるための「貯食」と言われていますが、春先に干からびた獲物を見る事があり、果たして本当ですかね？

今月の一句

「秋晴れに 俺はここだと モズ天下」

(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)



## ～森林の落とし物～



小学校の森林教室の中で森林観察を行っているときに色々な落とし物があるなど感じる。

### (1) カツラの葉

カツラの葉の落ちて黒ずんでいる場所で目を閉じて回りの臭いを嗅いでもらう。最初は何なのかという感じているが、しばらくすると誰かが甘いにおいがすると言い出す。すると何人かの子がお菓子の様な臭いとか言い出すので、カツラの木の葉だと教えてやり、葉っぱを拾って嗅いでもらうことにしている。

### (2) ミズキの花序

赤くなった花序は林道上で目につきやすいので、これなあに？がありそうだが意外とスルー

されるのでこちらからあえて、赤サングが落ちていると現物を見せると食いついてくる子が多い。家に持ち帰るのだと大事そうにする子がいるかと思うとポイと捨てちゃう子などいろいろだ。

### (2) イイギリの実

赤い実が落ちてると、こんなのが落ちてるといつもこちらが拾ってみせる。みんなが寄ってきたら、どこにくっついていたんだろうかと聞くとキョロキョロして見つけられないので上を見ようと言ってまだ木に残っている赤い実をみつけてもらう。(富)



カツラの葉



ミズキの花序

# 森林散策と草木染め

～公募イベント～

10月15日に「森林散策と草木染め」を開催しました。雲一つ無い絶好のコンディションとなり、午前中の森林散策では、さまざまな樹木や植物の観察ができました。

午後からはいよいよ草木染めです。まずは大きな鍋に細かく切ったキブシ等の植物の枝を入れて煮出して染め液を作ります。そして染める布に小さな木の板や小石などを糸や輪ゴムで縛り付けていきます。この作業によって様々な模様を作り出すことが出来ます。いよいよ染め液で染めて、その後媒染剤に浸してから、最後はきれいに洗って乾燥させればできあがりです。思いどおりに模様が出来て感動する人や、イメージとは違った仕上がりだったりとは結果は様々でしたが、最後に行った鑑賞会では笑いあり感動ありで大いに盛り上がりました。(磯)



## 森林教室

～依頼イベント～

### 浜っ子がヤッホー!



### ～横浜市立榎が丘小学校～

天気ははっきりしない日々が続く10月5日、横浜市立榎が丘小学校4年生94名が、宿泊学習の2日目に初めて森林ふれあい館へ森林学習に訪れました。

バスから降りてきた児童たちは、「おはようございます。よろしくお願ひします」と元気よくあいさつし荷物を整理した後、雲行きが怪しいことから急遽スケジュールを変更し、早速森林散策へ出発しました。前日、神奈川県内にある宮ヶ瀬ダムを見学し勉強してきたこともあり、沢を流れる水に興味を持ち、手で触れてみては「つめた〜い!!」と歓声を上げていました。スタッフからは「緑のダム」について説明し、森林の働きについて理解を深めていまし

た。また、山彦ポイントでは普段大声を出すことができない児童たちが、グループ全員でタイミングを合わせ「ヤッホッ〜!!」と叫び、返ってきたこだまに「オ〜〜」と感激していました。

午後からは座学と丸太切りです。地球温暖化や森林の大切さについて学び、新たな知識を身につけ、丸太切りではノコギリの扱いに苦労しながらも2〜3回切ることができ、自分で切り落とした丸太を大切にリュックの中へしまいお土産としていました。

児童たちは2日間の宿泊学習の疲れも感じさせず、「楽しかったです」「ありがとうございました」との言葉を残し、両親の待つ横浜市へ向け帰って行きました。(清)



## アケビを発見!



### ～武蔵村山市立第三小学校～

10月14日に武蔵村山市立第三小学校3年生105名の児童が、初めて森林学習で森林ふれあい館を訪れました。途中渋滞に巻き込まれ、予定より1時間程度遅く到着。疲れた様子もなく児童たちは「おはようございます」と元気よくあいさつしふれあい館の中へ。学校と相談の上、急遽スケジュールを変更し森林散策へ出かけました。

我々スタッフも初めて受け持つ学年に、何を話せばいいのか戸惑いながらも、児童たちとのコミュニケーションを大切にし興味を持ちそうな話題を見つながら1時間余りの散策を楽しみました。

午後からは座学と丸太切りを体験。座学では地球温暖化を題材としたDVDの上映と森林の働きなどについて勉強しました。一方、外では丸太切りを体験し、ノコギリの扱いに苦勞しながらもそれぞれが3回程度丸太を切ることができました。切り落とした丸太は大切にリュックの中にしまい込みお土産として持ち帰りました。

閉校式では、「山歩きは大変だったけど楽しかったです」「丸太切りはなかなか切れなかったけど楽しかったです」などと代表者の感想のあと、全員で「ありがとうございました」との言葉をいただきスタッフの顔にも笑顔が浮かびました。(清)



## ヒキガエルに釘付け



### ～八王子市立みなみ野君田小学校～

10月27日に八王子市立みなみ野君田小学校5年生の123名が森林教室にやってきました。天候に恵まれた秋晴れの中、森林散策、丸太切りに汗を流しました。123名という大人数のため、大きく2班に分け、午前中にA班が森林散策、B班が森林学習と丸太切りを行い、午後はA班とB班のプログラムを入れ替えての実施としました。また、当日は八王子市立恩方中学校の2年生4名が職場体験の最終日ということで、森林教室の補助スタッフとして活躍してくれました。

森林散策ではアケビを見つけ、ツリフネソウのはじける実に驚き、時にはアサギマダラを見ることも

できたりと、一味違う観察が楽しめます。しばらく進んでいくと突然大きなヒキガエルが出現・・・キーン!!と大きな歓声があがりました。「気持ち悪い～」といいつつも子どもたちの目線はヒキガエルに釘付けです。しばらくするとアサギマダラも現れてテンションはマックスに。

やがて丸太切りや森林学習も無事終了して閉校式となりましたが、子どもたちはまだ物足りない様子。「ねえ、ねえ、もう一回森林散策に行こうよ!」と懇願する子どもたちに「おじさんたち、もうクタクタだよ・・・」と正直に本心を伝えざるをえませんでした。(磯)



## クガヒルがミミズを丸呑み！



～八王子市立第三小学校～

10月17日月曜日、八王子市立第三小学校5年生93名が、総合的な学習の時間における環境学習の一貫として、森林ふれあい館へ森林学習に昨年度に引き続き今年度も訪れてくれました。

昨年度も雨でしたが今回も生憎の雨となりクラス毎の記念撮影は中止になってしまいましたが、バスから降りてきた児童たちは、「おはようございます」と元気よくあいさつし、森林ふれあい館へ早足で駆け込み荷物を整理した後、開校式を行いました。

センター所長から「今日は雨ですが、適度な雨は森林の木々や植物にとってはごちそうです！皆さんがご飯を食べるよう樹木及び植物は水分を吸収して成長します。皆さん雨だからと言って今日がっかりしないで樹木等のため今日は喜んでやってね・・・」とあいさつ後、午前中予定の森林学習ではパワーポイント等を使用し、自分たちが住んでいる日本や八王子市の森林面積や地球温暖化と森林の働き等について学び、特設テントの下では木の成長について学び、また、グループに分かれみんなで協力し合って丸太切りに取り組んでいました。子どもたちは、森林教室当初は緊張した面持ちでしたが、授業が進む

につれて、疑問に思ったことなどについて活発に質問をしました。

昼食を食べ終わる頃、雨も上がり、午後は予定どおり森林散策へ出発しました。雨上がりのため、林道沿いにはミミズ、クガヒル、沢にはサワガニを発見することができ「キヤー」「カワイイ」と大騒ぎしていました。野草のレモンエゴマの臭いを嗅いだり、ツリフネソウの種がちょっとした衝撃で弾けるのに驚いていました。また、午前中に学習した森林の働き（緑のダム等）について、実際に森林散策の中でスタッフから「森林に降った雨水は、ゆっくりと森林の土壤に浸透します。森林の土壤には、浸透していく際に有害な物質などを除去する働きがあります。（フィルター効果）また、ミネラルが溶け出て、おいしい水が作られています。おいしい水は、森林からの贈り物と言えるでしょう。」など説明を受け体験して行きました。

閉校式では、児童代表から「丸太切りが体験でき楽しかった」「森林にはたくさん働きがあることを知った」など感想発表があり、天候不安定ではあったが無事に森林教室を終わりました。（屋）



## 丸太を切ったよ

10月18日火曜日、八王子市内のまごころ保育園へ出向き、園児年長組13名を対象に森林教室、丸太切り体験及び木工教室を行いました。森林教室では「もりのすぎちゃん」紙芝居（パワーポイント）等を見てもらい森林や命の大切さ、四季を通した森林の働きや森林官のお仕事について学びました。その後、グラウンドに出て高尾山の間伐材を使った丸太切り体験をしましたが、当日は日差しの照りつける暑い中での実施でしたので、丸太切り体験前には園児、先生及びスタッフ全員お茶を一杯飲み干してから体験作業に取り組みました。園児達はスタッフが右往左往するほど元気いっぱい、何度もチャレンジして3個4個と輪切りを切り落としていました。

## ～八王子市 まごころ保育園～

「疲れるけど楽しい!」「もっとやりたい!」など元気な声がかかしこから聞こえてきました。木工教室では、事前に準備した輪切りにみんなで思い思いの絵を描き「ブンブン駒」を作り、楽しんでいました。最後に園児から「今日はありがとうございました」と言葉をもらいスタッフ一同心穏やかな気分でセンターに戻りました。

なお、園児達は10月21日の遠足のために「高尾山のポスター」を作成し、事前に学習していました。また、遠足当日は高尾山山頂までケーブルカーを使わず自力で森林教室で学んだことを思い出しながら?遠足(山登り)を自分の目で見て体験したようです・・・。(屋)

園児たちの手作りポスター①



園児たちの手作りポスター②



丸太切りに挑戦!



きれいに描けたね



## 沢山覚えた木の名前



## ～相模原市立作の口小学校～

10月12日、相模原市立作の口小学校の5年生106名と森林教室を行いました。昨年までは森林ふれあい館で実施していましたが、今年は小学校へ出張しての森林教室です。

はじめに、視聴覚室で森林のはたらきを解説する森林学習です。つぎに、校庭に移動して植物の生長の仕組みの説明を受けた後、6班に分かれての丸太切りです。慣れないのこぎりで丸太を切るため、思

うように切れない子もいましたが、切り終えた後は大きな達成感があったようです。その後は、学校林の樹木の説明を受けました。学校林に色々な種類の木があることを知ってからは、樹木に大いに興味を持っていたようです。

最後に児童達から、森林の持つはたらきを知って、森林を大切にしたいとの感想も聞こえてきました。(Ⅲ)



## 中学生の職場体験

## ～八王子市立恩方中学校～

10月25日～27日の3日間、八王子市立恩方中学校の2年生4名が職場体験のため当センターを訪れ様々な業務を体験しました。今年度はこれまでに3校の中学生が職場体験のため当センターを訪れ、今回が4校目の職場体験受け入れとなりました。今回は、職場体験最終日に小学5年生を対象とした森林教室を実施することになっていたため、若干ハードなスケジュールとなりましたが、森林教室の準備作業や森林教室当日のスタッフとしての仕事に一生懸命取り組んでくれました。特に、準備作業においては、林道の路面整備や路肩の草刈り、丸太切り体験用丸太を準備するための間伐～枝払い～玉切り～運搬といったかなりハードな作業を行ってもらっ

たにもかかわらず、作業終了後に自宅までの約8kmを走って帰るとの生徒2名が現れ、職員一同唖然。さすがは中学生！と感心しきりでした。

わずか3日間の職場体験ではありましたが、4名とも今回の職場体験に満足した様子で、口々に「とても楽しかった」「小学生の喜ぶ顔を見ることが出来てうれしかった」等の感想が聞かれる一方、「疲れた」「仕事がこんなに大変だとは思わなかった」等の感想もあり、それぞれが仕事の楽しさ、大変さを感じたようです。また、「センターの仕事を体験できてよかった。別の日に改めてここに来たい」という感想もあり、受け入れた当方にとってもやりがいを感じさせてくれた今回の職場体験でした。(谷)



### 編集後記

10月は本当に忙しかった。森林教室だけでも7校(100名前後の人数の学校が多い)中学生の職場体験もあったのでスケジュール的には限界に近い状況だった。正直に言うと「高尾はイベントやって楽しそう」というイメージしかなかったが、いざ中に入って仕事となると想像とはだいぶ違った。もちろんやりがいは感じてますが・・・気がつけば半年たって今年ももうすぐ終わり。まだまだ11月もイベントが多いから風邪引かないようにしなくちゃ。(磯)

### Forest 通信 No.333

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>